

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 081	提案機関名 横須賀三浦地域県政総合センター
要望問題 アワビ類の資源回復及び種苗の健全性確保について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、横三地区のアワビ類の漁獲量は低迷し、資源回復計画を実施しているが、造成した漁場での親貝密度が想定したほどに増加していない地区もあると聞く。また、アワビを養殖しても、生育途中での死亡率が非常に高いため採算に合わず、アワビ養殖を止めてしまう漁業者が出ている。このことから、一般漁場への放流種苗についても、漁場での生き残りや成長が十分でない可能性を心配する声もある。 これらのことから、進行中の資源回復計画による効果を評価することによりアワビ類の資源回復に向けて改善すべき点を整理するとともに、養殖アワビの死亡原因の究明とその対策立案、放流種苗の健全性の検証をお願いしたい。さらに、本県で放流されるアワビ種苗の生産を担う栽培漁業協会に対し技術的なサポートをお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 再生産によるアワビ資源添加技術開発		
対応の内容等	アワビ類の資源回復計画に基づく取り組みについて精査し、平成27年までには漁場ごとに、放流してきた種や造成漁場の位置・方法の適性などを評価し、より有効な親貝場造成手法を提示したいと考えております。 アワビ種苗の問題については、生産を担っている栽培漁業協会に対する技術的なサポートを強化することによって、対応していきたいと考えております。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			